

◎ 指示があるまで開かないこと。

令和2年2月23日 13時10分～15時10分  
ただし、はり師国家試験又はきゅう師国家試験  
のいずれか一つを受験する場合  
13時10分～14時55分

### 注意事項

1. 試験問題は**問題 81～160**の**80問**で、解答時間は正味2時間である。

ただし、はり師国家試験又はきゅう師国家試験のいずれか一つを受験する者は、きゅう理論又ははり理論が除かれて**70問**となり、解答時間は正味1時間45分である。

※はり師国家試験のみを受験する者は**問題 81～150**について解答すること。

※きゅう師国家試験のみを受験する者は**問題 81～140**および**問題 151～160**について解答すること。

2. 解答方法は次のとおりである。

- (1) 各問題には1から4までの四つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを一つ選び、次の例にならって答案用紙に記入すること。

(例) **問題 201** 県庁所在地はどれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

正解は「3」であるから答案用紙の **③** をマークすればよい。

答案用紙①の場合、201 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>①</td><td>①</td></tr> <tr><td>②</td><td>②</td></tr> <tr><td>③</td><td>●</td></tr> <tr><td>④</td><td>④</td></tr> </table>	①	①	②	②	③	●	④	④	答案用紙②の場合、 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>201</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>↓</td><td></td></tr> <tr><td>201</td><td>①</td><td>②</td><td>●</td><td>④</td></tr> </table>	201	①	②	③	④				↓		201	①	②	●	④
①	①																							
②	②																							
③	●																							
④	④																							
201	①	②	③	④																				
			↓																					
201	①	②	●	④																				

- (2) 答案の作成には**HB**の鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例…… ● (濃くマークする。)

悪い解答の例…… ⊖ ⊘ (解答したことにしない。)

- (3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり「」のような消し方などをした場合は、修正したことにならないから注意すること。
- (4) 1問に二つ以上解答した場合は誤りとする。
- (5) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。



## 専門基礎科目

**問題 81** 回復期リハビリテーション病棟で作業療法としてよく行われるのはどれか。

1. 歩行訓練
2. 巧緻動作訓練
3. 嚙下訓練
4. 立ち上がり動作訓練

**問題 82** 正常歩行のサイクルで正しいのはどれか。

1. 立脚中期に全足接地をする。
2. 二重支持期は 40 % である。
3. 立脚相で膝関節は 1 回屈曲する。
4. 遊脚相が立脚相より時間が長い。

**問題 83** 脳卒中片麻痺患者の動作について正しいのはどれか。

1. 衣服を着るときは健側から行う。
2. ベッドでの起き上がりは患側を下にする。
3. 歩行時には杖を健側で持つ。
4. 階段は患側から上がる。

**問題 84** 脊髄損傷の損傷レベルと key muscle(主たる残存筋)の組合せで正しいのはどれか。

1. C5 —— 上腕三頭筋
2. C8 —— 深指屈筋
3. L3 —— 腸腰筋
4. L4 —— 下腿三頭筋

**問題 85** 前腕義手のうち能動義手の特徴はどれか。

1. 装飾が主な目的である。
2. ケーブルでフックを開閉する。
3. モーターで動作をコントロールする。
4. 四辺形ソケットを用いる。

**問題 86** 脳性麻痺について正しいのはどれか。

1. 早期診断は容易である。
2. 診断が確定してから介入する。
3. 運動発達は自然に任せる。
4. 家族への保育指導を行う。

**問題 87** 呼吸理学療法と目的の組合せで正しいのはどれか。

1. 腹式呼吸訓練 ————— 一回換気量増大
2. 胸郭モビライゼーション —— 虚脱した気道の拡張
3. 体位ドレナージ ————— 吸気機能強化
4. 口すぼめ呼吸 ————— 咳嗽機能強化

**問題 88** 大腿骨頸部骨折について正しいのはどれか。

1. 交通事故による受傷が最も多い。
2. 寝たきりの原因となることが多い。
3. 安静期間をおいて手術を行うことが推奨される。
4. 術後8週以降で荷重訓練を開始することが多い。

## 専 門 科 目

**問題 89** 次の文で示す患者の病因で最も適切なのはどれか。

「34歳の男性。1週間前に上司から販売業績が悪いことを責められた。それ以来、やる気がでない。声に力がなく、食欲もない。」

1. 飲食不節
2. 勞 倦
3. 湿 邪
4. 怒

**問題 90** 五行色体における五脈と五病の組合せで正しいのはどれか。

1. 弦 —— 吞
2. 代 —— 咳
3. 毛 —— 語
4. 石 —— 欠

**問題 91** 脈中を行き、血をめぐらすのはどれか。

1. 原 氣
2. 宗 氣
3. 營 氣
4. 衛 氣

**問題 92** 六腑に属する奇恒の腑が、剋する腑の生理作用はどれか。

1. 貯尿を主る。
2. 受納を主る。
3. 決断を主る。
4. 昇清を主る。

**問題 93** 五臓と生理作用の組合せで正しいのはどれか。

1. 肝 —— 封 蔵
2. 心 —— 蔵 血
3. 腎 —— 治 節
4. 脾 —— 昇 清

**問題 94** 急にめまい、けいれんを起こすのはどれか。

1. 内 風
2. 内 寒
3. 内 湿
4. 内 燥

**問題 95** 五労で正しいのはどれか。

1. 久しく視ると血を傷る。
2. 久しく歩くと肉を傷る。
3. 久しく坐ると気を傷る。
4. 久しく立つと筋を傷る。

**問題 96** 次の文で示す患者の病証で最もみられる汗の状態はどれか。

「36歳の男性。主訴は咳嗽。水様の鼻汁を伴い、息切れ、倦怠感も訴える。脈は弱。」

1. 自 汗
2. 盜 汗
3. 大 汗
4. 絶 汗

**問題 97** 経脈病証で「顔がくすみ、皮膚がかさかさして艶がない。口が苦く、よくため息をつく。痛みで寝返りが打てない。」のはどれか。

1. 手の太陰経病証
2. 手の太陽経病証
3. 足の少陽経病証
4. 足の厥陰経病証

**問題 98** 虚証で最もみられるのはどれか。

1. 脱 肛
2. 拒 按
3. 滑 脈
4. 口 苦

**問題 99** 次の文で示す患者の病証で最もみられる舌所見はどれか。

「54歳の女性。主訴は肩こり。2週間前に感冒にかかり咳が強く出た。現在も透明な鼻汁が出て痰が多い。」

1. 膩 苔
2. 燥 苔
3. 黄 苔
4. 剥落苔

**問題 100** 難経六十九難の治療法則で原穴を選穴するのはどれか。

1. 肝虚証
2. 脾虚証
3. 肺虚証
4. 腎虚証

**問題 101** 癰証と十二刺の組合せで正しいのはどれか。

1. 筋 癰 —— 恢 刺
2. 心 癰 —— 陰 刺
3. 寒 癰 —— 輪 刺
4. 骨 癰 —— 直鍼刺

**問題 102** 経脈の流注で横隔膜を貫かないのはどれか。

1. 手の太陰経
2. 手の陽明経
3. 足の少陰経
4. 足の太陽経

**問題 103** 骨度で最も長いのはどれか。

1. 委中から承山
2. 曲泉から中都
3. 陰谷から復溜
4. 陰陵泉から三陰交

**問題 104** 八会穴の気会と同じ高さにある経穴はどれか。

1. 梁 門
2. 大 包
3. 食 竇
4. 神 封

**問題 105** 三叉神経第2枝の領域にある経穴はどれか。

1. 素 髎
2. 兌 端
3. 承 漿
4. 下 関

**問題 106** 長母指外転筋腱と短母指伸筋腱の間を取るのはどれか。

1. 温溜
2. 外関
3. 郄門
4. 列欠

**問題 107** 胸背部の打診法で清音が聴取される部位に位置する経穴はどれか。

1. 臑中
2. 屋翳
3. 中府
4. 章門

**問題 108** 経穴とその部位にある筋の支配神経の組合せで正しいのはどれか。

1. 孔最 —— 尺骨神経
2. 支正 —— 正中神経
3. 三陰交 —— 脛骨神経
4. 陽陵泉 —— 深腓骨神経

**問題 109** 取穴法で正しいのはどれか。

1. 聴会 は耳珠の前上方で頬骨弓の後端に取る。
2. 聴宮 は耳珠と下顎骨との間にある陥凹部で、下顎骨関節突起の後縁に取る。
3. 耳門 は珠間切痕の直前陥凹中で、口を開くと深くくぼむところに入る。
4. 翳風 は後頭骨の下方で、胸鎖乳突筋と僧帽筋の間の陥凹中に入る。

**問題 110** 深刺すると椎骨動脈を損傷するリスクが最も高い経穴はどれか。

1. 風府
2. 風池
3. 秉風
4. 翳風

**問題 111** 五要穴で急性症状に用いる経穴の部位はどれか。

1. 前脛骨筋の外縁、外果尖の上方8寸
2. 内果尖の下方1寸の陥凹部
3. 腓骨の前方、外果尖の上方7寸
4. 側胸部、第6肋間、中腋窩線上

**問題 112** 陽蹻脈の郛穴の部位はどれか。

1. 下腿外側、腓骨の前方、外果尖の上方7寸
2. 下腿内側、脛骨内縁の後際、陰陵泉の下方3寸
3. 下腿前内側、脛骨内側面の中央、内果尖の上方7寸
4. 下腿後外側、腓骨とアキレス腱の間、崑崙の上方3寸

**問題 113** 奇穴で顔面神経麻痺が主治でないのはどれか。

1. 太陽
2. 夾承漿
3. 牽正
4. 翳明

**問題 114** トリガーポイントの特徴でないのはどれか。

1. 発汗量の低下
2. 関連痛の出現
3. 痛覚閾値の低下
4. 索状硬結の触知

**問題 115** 「治未病」について誤っているのはどれか。

1. 病気になる前の予防に重点を置く。
2. 治療すべきタイミングに配慮する。
3. 病の兆しを見つけたら早期に治療を開始することに重点を置く。
4. 五臓の病があれば、その母にあたる臓の治療に重点を置く。

**問題 116** 着痹に対して補瀉を考えて刺鍼する場合の適切な手法はどれか。

1. 抜鍼後に鍼孔を閉じる。
2. 浅く入れ、後に深くする。
3. 吸気時に刺入し、呼気時に抜く。
4. 経絡の流注方向に沿って刺入する。

**問題 117** 頑固な腰痛に対する治療で、腰部に鍼を2本使用して行うのはどれか。

1. 偶刺
2. 斉刺
3. 揚刺
4. 傍鍼刺

**問題 118** 次の文で示す症例の治療方針として調整すべき経絡で最も適切なのはどれか。

「33歳の女性。主訴は全身の痛み。3年前から全身の疼痛に悩まされ、最近になって線維筋痛症と診断された。食欲がなく、雨天時には特に調子が悪く、起き上がることもできない。」

1. 陰維脈
2. 陰驕脈
3. 脾の大絡
4. 胃の大絡

**問題 119** 次の文で示す患者の病証に対する治療で最も適切な経脈はどれか。

「38歳の女性。もともと喘息の持病があったが、最近、反抗期の息子に怒ってばかりでイライラし、症状が頻発し、咳も出るようになった。口が苦く咳をすると胸脇部が痛む。舌質紅、舌は薄黄苔、脈は弦数。」

1. 手の太陰経と足の厥陰経
2. 手の太陰経と足の太陰経
3. 手の少陰経と足の厥陰経
4. 手の少陰経と足の太陰経

**問題 120** 次の文で示す患者の病証として最も適切なのはどれか。

「42歳の女性。主訴は頻尿と排尿時痛。尿は途切れがちで黄色く混濁している。会陰部の違和感や残尿感もみられる。舌質紅、脈は滑数。」

1. 脾腎両虚
2. 肝腎陰虚
3. 膀胱湿熱
4. 大腸湿熱

**問題 121** 次の文で示す症例に対して灸治療を行う場合に最も適切な経穴はどれか。

「60歳の女性。主訴は陰部搔痒感。4日前に深酒をした。昨日より右膝内側から大腿部内側のひきつれ感がある。脈は左関上の浮数滑。」

1. 脛骨内縁の後際、内果尖の上方3寸
2. 前脛骨筋の外縁、外果尖の上方8寸
3. 腓骨の前方、外果尖の上方5寸
4. 脛骨内側面の中央、内果尖の上方5寸

**問題 122** 次の文で示す症例の治療穴として太衝とともに用いる原穴はどれか。

「49歳の女性。半年ほど前から、めまい、顔のほてりが起こりやすく、汗が出やすい。腰や膝がだるく、力が入らない。閉経している。舌質紅、脈細数。」

1. 太白
2. 太溪
3. 大陵
4. 太淵

**問題 123** 次の文で示す症例で経脈を考慮した治療穴として最も適切なのはどれか。

「19歳の男性。2か月前に左足関節の内がえし捻挫を起こし、今も痛みが取れない。イライラしやすく、左肩上部のつっぱり感がある。」

1. 第1・第2足指間、みずかきの近位、赤白肉際
2. 第2・第3足指間、みずかきの後縁、赤白肉際
3. 第5中足指節関節外側の遠位陥凹部、赤白肉際
4. 第4・第5足指間、みずかきの近位、赤白肉際

**問題 124** 腰部脊柱管狭窄症に対する診療において SOAP 形式で記録する場合、A に該当するのはどれか。

1. 間欠跛行距離 300 m
2. 腰下肢への低周波鍼通電療法
3. ケンプ徴候陽性
4. 神経根型

**問題 125** 筋肉痛に対する局所施術として、罹患筋と治療穴の組合せで正しいのはどれか。

1. 三角筋 ————— 消 滌
2. 上腕三頭筋 —— 臂 臑
3. 薄 筋 ————— 膝 関
4. 後脛骨筋 —— 築 賓

**問題 126** 次の文で示す患者の患側の徒手検査所見で、みられる可能性が最も高いのはどれか。

「60歳の男性。2か月前から右頸肩 upper limb に痛みがある。近医にて頸椎症による C6 神経根障害と言われた。」

1. モーレイテスト陽性
2. 腕橈骨筋反射減弱
3. ホフマン反射陽性
4. 中指の触覚鈍麻

**問題 127** 次の文で示す症状に対して罹患神経近傍へ施術する場合、最も適切な経穴はどれか。

「手の骨間筋の萎縮がみられ、フローマン徴候陽性である。」

1. 尺 沢
2. 手五里
3. 小 海
4. 内 関

**問題 128** 罹患筋支配の神経近傍への刺鍼を行う場合、症状と治療穴の組合せで最も適切なものはどれか。

1. 閉眼困難 ————— 完 骨
2. 足関節外がえし困難 ————— 陽陵泉
3. 手関節背屈困難 ————— 曲 沢
4. 近位指節間関節屈曲困難 ——— 手五里

**問題 129** 罹患筋への治療穴として天泉を用いる疾患で、陽性となる可能性が最も高い理学検査はどれか。

1. スピードテスト
2. ペインフルアークサイン
3. フローマン徴候
4. ティアドロップ徴候

**問題 130** 次の文で示す症例について、陽性となる可能性が最も高い理学検査はどれか。

「45歳の男性。2か月前から左腰下肢に痛みを感じる。前かがみで痛みが増強する。左足底部の知覚鈍麻、アキレス腱反射は減弱。間欠跛行はみられない。」

1. FNSテスト
2. ボンネットテスト
3. ゲンスレンテスト
4. アリス徴候

**問題 131** 咬筋の過緊張による顎関節症に対する局所治療穴として最も適切なのはどれか。

1. 頬車
2. 上関
3. 地倉
4. 顴髎

**問題 132** 高齢者に対する評価法とその目的との組合せで正しいのはどれか。

1. バーセルインデックス ————— 認知症の評価
2. 改訂PGCモラルスケール ——— 歩行機能の評価
3. MMSE ————— ADLの評価
4. ハミルトン評価尺度 ————— 抑うつ状態の評価

**問題 133** 徒手検査法の陽性所見と罹患筋への治療穴との組合せで適切なのはどれか。

1. トンプソンテスト ————— 豊 隆
2. トムゼンテスト ————— 支 正
3. 足関節内反ストレステスト —— 照 海
4. グラスピングテスト ————— 膝陽関

**問題 134** 次の文で示す患者の罹患筋に対する治療穴として最も適切なのはどれか。

「20歳の男性。ラグビーで反復性の肩関節脱臼を起こしている。先日、脱臼して整復されたが、肩の外側にしびれと筋の脱力感による挙上制限がみられた。」

1. 巨 骨
2. 秉 風
3. 臂 臑
4. 天 宗

次の文で示す症例について、問題 135、問題 136 の問いに答えよ。

「71 歳の男性。100 m の歩行で左下腿後面に絞扼痛が出現、休息で軽快。仰臥位で両下肢を挙上させ 30 秒足趾を屈伸させると患側足底部が白くなる。SLR テスト陰性。」

**問題 135** 身体診察で患側下肢にみられる所見はどれか。

1. ケンプ徴候陽性
2. 足底部の触覚鈍麻
3. アキレス腱反射減弱
4. 足背動脈拍動減弱

**問題 136** 本症例で、症状のある筋の支配神経近傍に刺鍼し、低周波鍼通電療法を行う場合、最も適切な経穴はどれか。

1. 陰 廉
2. 委 中
3. 足三里
4. 陽陵泉

次の文で示す症例について、問題 137、問題 138 の問いに答えよ。

「26 歳の男性。主訴は腹痛と下痢。IT 企業でストレスの多い仕事に従事している。

1 日数回排便する。器質的な病変はない。」

**問題 137** 下痢の病態で最も適切なのはどれか。

1. 消化管からの分泌亢進
2. 消化管運動の亢進
3. 消化管知覚閾値の上昇
4. 消化管支配の交感神経機能亢進

**問題 138** 本症例の病証として最も適切なのはどれか。

1. 脾気虚
2. 脾腎陽虚
3. 肝脾不和
4. 腎気虚

次の文で示す症例について、問題 139、問題 140 の問いに答えよ。

「18 歳の男性。主訴は頭痛。7 日前に薄着で体が冷え、その日の夜から悪寒、発熱、頭痛を自覚し、風邪薬を飲んでも完治しない。咳と痰はなく、汗をかきやすい。舌は薄白苔、脈は浮緩。」

**問題 139** 病証として最も適切なのはどれか。

1. 肺陰虚証
2. 手の太陰経脈病証
3. 手の少陰経脈病証
4. 風寒表虚証

**問題 140** 本症例に対する治療として適切なのはどれか。

1. 背部兪穴を瀉して去風する。
2. 肺経の要穴を使って陰液を補う。
3. 膀胱経の要穴を使って経脈を疏通する。
4. 肺経の要穴を補して表を閉じる。

## はり理論試験問題(問題 141～150)

(はり師国家試験を受験する者が解答すること。)

問題 141 毫鍼について誤っているのはどれか。

1. 5番鍼の鍼体径は0.26 mmである。
2. 2寸の鍼体長は60 mmである。
3. 鍼尖の形状の一つに卵型がある。
4. 鍼体長は鍼尖から鍼根までをいう。

問題 142 現行17手技で鍼を一方向に回すのはどれか。

1. 細指術
2. 回旋術
3. 間歇術
4. 旋撚術

問題 143 深刺により化膿性関節炎のリスクがある経穴はどれか。

1. 膏 肓
2. 欠 盆
3. 肩 髃
4. 天 宗

問題 144 患者の体動により抜鍼困難が生じた場合の対応として適切でないのはどれか。

1. 返し鍼を行う。
2. 副刺激術を行う。
3. 患者をリラックスさせる。
4. 筋緊張が緩解するまで待つ。

**問題 145** 毫鍼の製造工程で滅菌に用いるのはどれか。

1. グルコン酸クロロヘキシジン
2. 塩化ベンザルコニウム
3. 酸化エチレンガス
4. ポビドンヨード

**問題 146** 内臓痛について誤っているのはどれか。

1. A $\beta$ 線維により伝達される。
2. 痛みの局在が不明瞭である。
3. 脊髄後角の広作動域ニューロンに接続する。
4. 関連痛の出現に関与する。

**問題 147** 痛覚の中枢内伝導路で情動行動、自律神経機能や痛みの制御の調節に関与すると考えられているのはどれか。

1. 後索路
2. 脊髄網様体路
3. 前脊髄視床路
4. 新脊髄視床路

**問題 148** 刺鍼時のフレア形成に関与するのはどれか。

1. 脊髄後角でのガンマアミノ酪酸(GABA)放出
2. 交感神経節後線維の興奮
3. 軸索反射による CGRP 放出
4. 視床腹側基底核群の興奮

**問題 149** 鍼鎮痛の発現に関与する部位はどれか。

1. 脊髄前角
2. 歯状核
3. 中脳水道周囲灰白質
4. 赤核

**問題 150** 鍼の末梢性鎮痛効果に最も関与するのはどれか。

1. アドレナリン受容体
2. ムスカリン受容体
3. ヒスタミン受容体
4. アデノシン A1 受容体

## きゅう理論試験問題(問題 151～160)

(きゅう師国家試験を受験する者が解答すること。)

**問題 151** 良質艾の精製工程で最も時間をかけて不純物を取り除くのはどれか。

1. 裁断機
2. 石 臼
3. けんどん(長唐箕)
4. 唐 箕

**問題 152** 透熱灸を避けるべき経穴はどれか。

1. 神 堂
2. 顴 髎
3. 風 市
4. 臑 会

**問題 153** 灸あたりについて誤っているのはどれか。

1. 瞑眩の一種である。
2. 水疱の破壊により起こる。
3. めまいは症状の一つである。
4. 灸療法を再開したときは総刺激量を少なくする。

**問題 154** 糖尿病患者に対する灸施術で灸痕化膿のリスクが最も低いのはどれか。

1. 艾条灸
2. 焦灼灸
3. 透熱灸
4. 打膿灸

**問題 155** 灸による温熱刺激の受容・伝導について誤っているのはどれか。

1. 熱刺激で開くイオンチャンネルが存在する。
2. IV群線維によって伝導される。
3. 脊髄後角の侵害受容ニューロンへ伝達する。
4. 熱痛情報は脊髄後側索を上行する。

**問題 156** デルマトームを考慮した体性-自律神経反射を利用して下痢の灸治療を行う場合、最も効果が期待できるのはどれか。

1. 梁 門
2. 帰 来
3. 脾 俞
4. 足三里

**問題 157** 透熱灸の施灸局所で発痛を増強するのはどれか。

1. ヒスタミン
2. ブラジキニン
3. CGRP
4. プロスタグランジン

**問題 158** 施灸局所の肥満細胞から放出される血管透過性亢進物質はどれか。

1. IgE
2. 補 体
3. ヒスタミン
4. ブラジキニン

**問題 159** 広汎性侵害抑制性調節(DNIC)が最も関与するのはどれか。

1. 合谷に透熱灸を行い歯痛が緩和した。
2. 足三里に七分灸を行い胃痛が緩和した。
3. 大腸兪にショウガ灸を行い腰痛が改善した。
4. 梁丘に温筒灸を行い膝痛が改善した。

**問題 160** 施灸後早期に貪食能の活性が亢進すると考えられるのはどれか。

1. T細胞
2. 好中球
3. 線維芽細胞
4. マクロファージ



